



# パラオだより

第15号

## 中間報告会、終了



1年間の活動を15分で要約し、英語で発表しました。アルモノグイ州からは校長先生と、ホストファミリーがかけつけてきてくれました。サプライズで練習していたホストファミリーへの、感謝の言葉は大成功で、二人とも泣いて喜んでくれました。発表の内容は、前半はゼロ戦のこと、後半はチャットGPTの話をしました。筒井先生の活動もあと半年となりました。最後まで全力で頑張ります。

## 地域と文化

### カヤンゲル島

パラオの北の端の島「カヤンゲル島」に訪れる機会に恵まれました。パラオの島々の中で、太平洋戦争の影響を一切受けなかった平和な島です。なので、戦跡などは一切残っていません。戦前からの（本来の）パラオの姿を残している貴重な場所と言えます。



とはいえ、何もない島でした。とんでもなく美しい海が広がっており、この島に生きる人々は非常に健康的で豊かな生活を送っていました。島から出る時、島を振り返ると島から出られなくなるという言い伝えがあるそうです。ずっとここにいたい気持ちになり、思わず振り返りそうでした。左の写真は、島民が飼っていたフルーツバットです。

### いざフィンランドの学校へ

パラオとは関係ない話ですが、任国外旅行制度というのを利用して、夏休みにフィンランドの学校を見てきました。世界一幸せな国と言われるフィンランドの学校がどうなっているのか、ずっとこの目で見てみたかったです。



社会福祉が充実している国だけあって、教育環境もすばらしく充実していました。筒井先生はJICA活動を通して、日本と他の国の教育を比べるチャンスにたくさん恵まれました。ここで得た学びや気づきを日本に持ち帰って、広い視野を持った教師になりたいと思っています。

### 夏休みに読んだパラオ関連の本紹介



「パラオ 本」とネットで調べてみたらわかる通り、そのほとんどは戦争に関するものです。（まれにパラオの神話について書かれたものもあります。）全て実際に起きたことだと思えば、改めて、平和な時代に生まれて良かったなと考えさせられます。右下の「ペリリュー」はマンガなので読みやすいかもしれません。アニメ化も決定したようです。